

年 組 名前：

風林火山

「あ」はあんぱん、「い」はいえ」。画家・絵本作家安野光雅さんの「あいうえおの本」は左ページに木で組み立てられた立体のひらがな、右ページにその文字で始まるものの絵が描かれている▼あとがきで「文字を教えよう、というのではない、日本の伝統的な形と、ことばとを結びつけたかった」と安野さん。繊細に描かれたその「あいうえお」は日本の暮らしと結びつき、子どもと一緒にページをめくる大人をどこか懐かしい思いにさせる▼来年の東京五輪開会式の選手団入場は、日本語で国・地域名を表記した五十音(あいうえお)順だという。過去に日本で開催された3回の五輪は、いずれも国際的な分かりやすさを重視して英語表記のアルファベット順。五十音順は初めてになる▼もともと国際オリンピック委員会(IOC)の規定は五輪発祥国のギリシャを先頭、開催国を最後とし、ほかの国・地域は開催国の言語表記順だという。海外の人々がどう受け止めるかはさておき、親しみある順番での選手団入場は新鮮だ▼さまざまな日本の形と結びついた安野さんの絵本のように、五十音に興味を持ち始めた子どもたちが「あいうえお」と国々を結び付け、多様な人々が暮らす世界を意識するきっかけになれば、と期待したくなる▼何を語るにも五輪が開かれてこそ。朝晩の冷え込みが日に日に厳しくなる霜月。コロナ禍の今後が気になるころ。

(有)

(2020年11月2日付 山梨日日新聞1面)

問1

来年の東京五輪開会式では、日本開催の五輪として初めて、選手団入場が国・地域名を日本語で表した五十音(あいうえお)順で行われるということです。

コラムの筆者は、「五十音順の入場行進」に、どんなことを期待していますか。

問2

日本では過去3回五輪が開催されましたが、開催された都道府県名と開催年(西暦)を調べ、書いてください。

- ① 「                    」 → 「                    」 年
- ② 「                    」 → 「                    」 年
- ③ 「                    」 → 「                    」 年

問3

「五輪(オリンピック)で最も重要なことは『A』ことではなく『B』ことである」という先人の言葉があります。AとBに入る言葉を①～⑧の中から選んでください。

① 「                    」                    ② 「                    」

- ① メダルを取る                    ② 善戦する                    ③ 勝つ                    ④ 世界新記録を出す
- ⑤ 敗者をたたえる                    ⑥ 参加する                    ⑦ 交流する                    ⑧ 勝利の涙を流す